

取材案内

立命館アジア太平洋大学
2019年5月16日 配信 APUリリース 2019-07

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

APUの日本語初級クラス受講生が鉄輪地区を散策・「海地獄」見学も

まち歩きを通して、自分たちの暮らす別府の歴史や文化を知る

5月18日(土)・19日(日) 13:00～

2019年5月18日(土)・19日(日)の2日間、APUの日本語初級クラスで学ぶ国際学生が、別府市の鉄輪エリアのまち歩きを行い、鉄輪の歴史や文化を学びます。このまち歩きは、4月に入学したばかりの国際学生が今後4年間生活する地域に触れ、地域の方々と交流しながら実践的な日本語を使用することをきっかけに、地域への関心や日本語学習への意欲を高めることを期待しています。

当日、参加学生は、教員が用意した鉄輪周辺の地図と課題シート、鉄輪周辺の設備についての説明書を使って鉄輪の街を歩き、「足湯に入る」など鉄輪の文化の体験したり、鉄輪についての問題の答えを探すなどしながら制限時間内にゴールの「海地獄」を目指します。まち歩き後には、「海地獄」の見学も予定しています。

またこの後学生は、初級クラスで実施する学習の総仕上げ「私の発見」という最終プレゼンテーションで、日本で生活する中で知った日本の文化や事象を「びっくりしたこと・興味を持ったこと」をひとつ取り上げ、学習者なりの視点で自国と比較しながら紹介する準備をします。

【スケジュール(18日、19日共に)】

- 13:00 APU集合(路線バスで鉄輪へ移動)
- 13:30 鉄輪到着 まち歩き開始
- 15:30 海地獄前集合→海地獄見学

【広がるAPUへのご支援】

今回、APUで去年初めて実施したクラウドファンディング『「共生」できるまちづくり!国際学生と地域の交流プログラムを』へご支援いただいたことをきっかけに、APUの多文化共生への取り組みや日本語教育に関心を寄せてくださった「海地獄」のご厚意で、学生達を無料で「海地獄」にご招待いただきました。招待のお礼として、参加学生は外国人ならではの視点から「海地獄」を見学した感想をフィードバックしたり、SNSで見学の様子を配信するなどの還元をする予定です。

【当日の連絡先】

担当教員 増田寛次(ますだひろつぐ) 080-8720-4641